

本ソフトは、Spotron製電流計またはモニタが外部出力するデータを受信し、PCのハードディスクへCSVファイルとして保存するソフトです。

## 1. 動作条件

- ・ RS-232C Dsubコネクタ (製品がUSB出力の場合USB2.0以上のポート) があるWindows パソコン
- ・ Windows XP 以降のOS
- ・ CPU 800MHz以上
- ・ RAM 1GB以上

\* 電流計・モニタがRS-232C出力の場合に、市販の232C-USB変換コネクタを使用してPCのUSBポートへ接続することはできますが、変換コネクタ自体の動作に関して弊社では保障致しかねます。

## 2. 電流計・モニタとの接続

### 2-1. 製品がRS-232C出力の場合

対象製品：AMS-951, AMS-924, AMS-115, AMS-116, AMS-105S, AMS-107D, HDC  
(各機種ともRS-232C出力ポートが付いている製品であること)

製品に付属のRS-232CケーブルでPCと接続するだけでデータの受信が可能になります。

### 2-2. 製品がUSB出力の場合

対象製品：SP-3510, SP-3290, SP-3221, AMS-1070E

SP-3510, SP-3290, AMS-1070Eは、別紙「SP-3510, SP-3290, AMS-1070Eデバイスドライバインストール」を参照して下さい。

SP-3221は、製品に添付のCD-ROMからUSBドライバのインストール説明書を参照しインストールして下さい。

## 3. インストール

本ソフトは単独で動作する実行ファイルです。(ファイル名：DataReceive3.exe)  
インストーラはありません。デスクトップ等へ置いてWクリックで起動します。

ソフトは弊社ホームページよりダウンロードすることができます。

SP-3510 または AMS-1070E をお買い上げのお客様は、標準添付品のSDカードに本ソフトと取扱説明書を入れております。

## 4. ソフトの使用方法

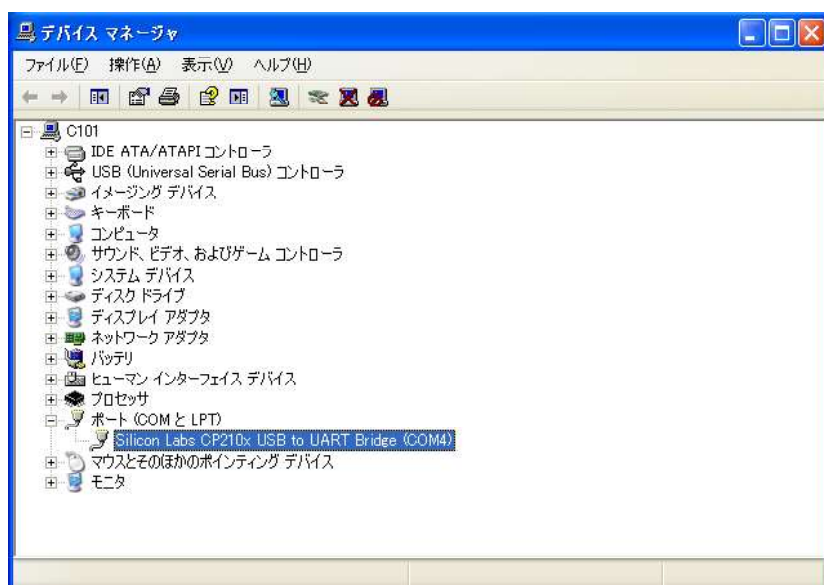
実行ファイルをWクリックして起動すると、以下のウインドウが開きます。  
COMポートNo. を選択するプルダウンメニューと製品の機種を選択するプルダウンメニューがありますので、それぞれ選択してください。  
機種の選択により、機種に合った通信仕様が自動的に設定されます。

選択したCOMポートNo. が  
使用不可の場合には、  
「ポートが開けません」と  
メッセージが出ますので、  
「OK」を押してメッセージを  
閉じ、選択し直して下さい。



一般的なWindows PCは、RS-232CのDsubコネクタとしてポートNo. のCOM1, COM2が  
予約され、割り当てられています。

USBコネクタへ接続の場合、  
COM3以降の番号になります。  
デバイスマネージャを開き、  
(デバイスマネージャの開き  
方は、OSによって異なります  
ので、OSのヘルプを参照して  
下さい)  
ポートの項目のツリー表示を  
展開し、ポートNo. を確認  
して下さい。



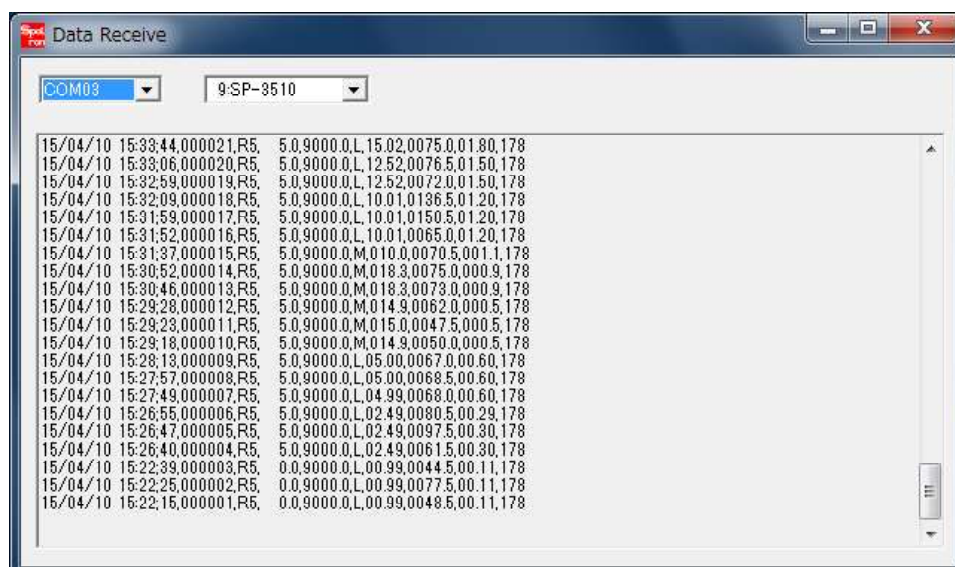
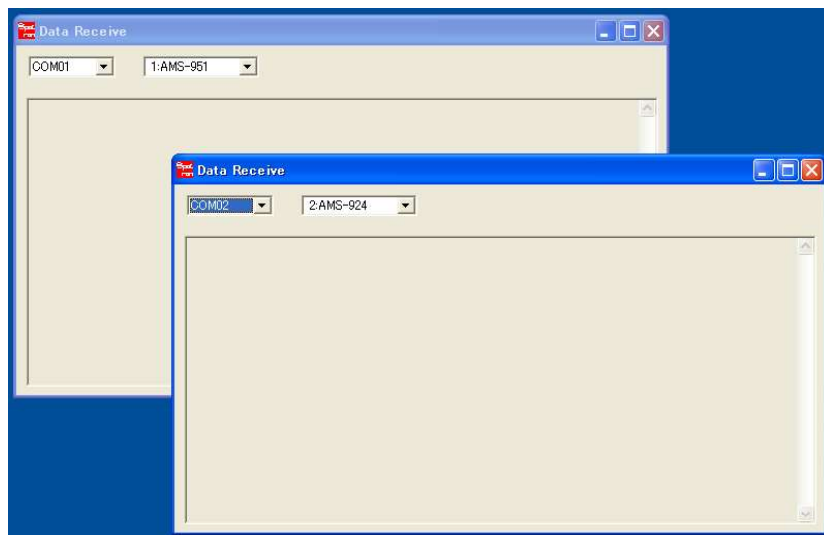
(例. SP-3510を接続したとき)

PCに複数の接続可能なポートがあれば、複数台の製品を同時に接続し、複数のウィンドウを開いてデータを受信することが可能です。  
Wクリックで必要数のウィンドウを起動させて下さい。

ウィンドウのサイズは、ウィンドウ右上の最大化ボタンで最大化のみできますが、任意のサイズには変更できません。

ウィンドウの位置はドラッグして移動できます。

受信したデータはウィンドウに表示します。



## 5. 受信データの保存

受信データは、以下のフォルダーファイルを自動的に作成してCSV形式で保存しますので、表計算ソフト等で開くことができます。

AMS-105Sには4種類の通信仕様がありますので、製品の取扱説明書で仕様を確認して下さい。また、AMS-116はAMS-115を選択して下さい。

- 1:AMS-951      C:\¥Spotron¥AMS-951¥西暦年¥COM\_#¥西暦年月日.csv
- 2:AMS-924      C:\¥Spotron¥AMS-924¥西暦年¥COM\_#¥西暦年月日.csv
- 3:AMS-115      C:\¥Spotron¥AMS-115¥西暦年¥COM\_#¥西暦年月日.csv
- 4:AMS-105S      標準的仕様  
(ボーレート:9600bps    データビット:8bit    パリティ:なし    ストップビット:2bit)  
C:\¥Spotron¥AMS-105S¥西暦年¥COM\_#¥西暦年月日.csv
- 5:AMS-105S-s    シーム溶接用  
(ボーレート:9600bps    データビット:8bit    パリティ:なし    ストップビット:2bit)  
C:\¥Spotron¥AMS-105S¥西暦年¥COM\_#¥西暦年月日.csv
- 6:AMS-105S-71    特定ユーザー向け  
(ボーレート:9600bps    データビット:7bit    パリティ:なし    ストップビット:1bit)  
C:\¥Spotron¥AMS-105S¥西暦年¥COM\_#¥西暦年月日.csv
- 7:AMS-105S-81    単相交流5000cyシーム用  
(ボーレート:9600bps    データビット:8bit    パリティ:なし    ストップビット:1bit)  
C:\¥Spotron¥AMS-105S¥西暦年¥COM\_#¥西暦年月日¥時分秒.csv
- 8:AMS-107D      C:\¥Spotron¥AMS-107D¥西暦年¥COM\_#¥西暦年月日.csv
- 9:AMS-1070E      C:\¥Spotron¥AMS-1070E¥西暦年¥COM\_#¥西暦年月日.csv
- 10:SP-3510      C:\¥Spotron¥SP-3510¥西暦年¥COM\_#¥西暦年月日    のフォルダに  
Data1は、1\_年月日.csv  
Data2は、2\_カウント.csv    または    2)カウント.csv  
Waveは、w\_カウント.csv    または    w)カウント.csv    としてファイルを保存。
- 製品のSDカードにデータを保存する動作と同じです。  
製品取扱説明書のSDカードに関する項目を参照下さい。  
Data2およびWaveについては、ファイル名とData1に相当するヘッダ行のみを  
ウインドウに表示しますが、データの内容はハードディスクに保存しています。
- 11:SP-3290      C:\¥Spotron¥SP-3290¥西暦年¥COM\_#¥西暦年月日    のフォルダに  
Data1は、1\_年月日.csv  
Data2は、2\_カウント.csv    または    2)カウント.csv    としてファイルを保存。
- 12:SP-3221      C:\¥Spotron¥SP-3221¥西暦年¥COM\_#¥西暦年月日.csv
- 13:HDC            C:\¥Spotron¥HDC¥西暦年¥COM\_#¥西暦年月日.csv